

生徒心得

この心得は、大住中学校の生徒であることの自覚をもち、秩序と規律のある学校生活を送り、自己を高めるとともに立派な伝統と校風をつくりだすために定めるものです。

次のようなことを進んで実践し、励まし合い助け合って、よりよい学校生活を送れるように努めましょう。

1. 学習面

- (1)授業の規律を守り、計画的・積極的に学習に取り組もう。
- (2)話し合いでは、人の意見もよく聞き、自分の意見は明瞭・正確に発表しよう。

2. 生活面

- (1)互いの人格を尊重し、相手に迷惑をかけたり不快な感じを抱かせたりしないようにしよう。
- (2)あいさつは進んで行い、美しい言葉づかいを心がけよう。
- (3)常に所持品の点検を怠らず、私物の保管については十分注意を払おう。

3. 健康・安全面

- (1)自己の健康管理をしっかりしよう。
- (2)交通規則やマナーをしっかり守り、事故防止を心がけよう。

4. 環境・美化面

- (1)公共物を大切にし、進んで教室などの校内美化に努めよう。

〈届け出、許可等について〉

- (1)欠席、遅刻、早退、体育の見学をする場合は、電話、さくら連絡網などにより担任の先生や教科担当に届け出る。
- (2)自分または家族に異動や事故があった場合、すみやかに学校に連絡する。
- (3)学生割引証は、ホームページから用紙をダウンロードし、学校に申し込む。
- (4)下校後の立ち寄りや携帯電話の持参など、特別な事情で先生に許可が必要な場合は、事前に学校の許可を得る。

〈身だしなみについて〉

1. 服装

- (1)男女とも制服を着用する。

制服は学校指定のブレザー、ポロシャツ(半袖・長袖)、ズボン・スカート(夏用・冬用いずれか)とする。移行期等は設けないので、気温に合わせて調節すること。また、セーター、ベスト(学校指定)の着用も年間を通して認める。制服と同様に気温に合わせて調節をすること。

・式典(入学式、卒業式)や始業式、終業式、修了式、一部の学校行事については、ブレザーを着用すること(一学期の終業式と二学期の始業式は除く)。

・ポロシャツの下に着るシャツは白・黒・紺色を着用すること。それ以外の色シャツは着用しないこと。(ワンポイントのみ可。ハイネックは不可。)

・ブレザー・ポロシャツのボタンはとめること。ポロシャツの裾はズボン・スカートの上に出さない。

・スカートの丈はひざ程度として短く折り曲げない。(目安としてひざ立ちした時に、床にスカートがつくこと)

・ズボンをずらさない。ベルトは必ず着用すること。色は(紺・黒・茶)とする。

- (2)防寒着(上着、マフラー、ネックウォーマー、手袋など)については、部活動で使用している物、制服にふさわしい物、ロッカーやカバンに入る物などを可とする。防寒着の着用は登下校、部活動時のみとし、登校したら教室のロッカーやカバンに入れるようにする。

- (3)靴下は白、黒、紺色のものを着用する。(ルーズソックスやメッシュ、フリルのついたものは不可。)足元が寒い場合はストッキングやタイツなどを着用してもよい。色は肌色または靴下の規定に準ずる。

2.上履き・下履き

- (1)通学靴は、運動靴とする。
- (2)上靴は市販の白い上靴とする。
- (3)体育館シューズは、学校指定のものとする。

3.頭髪

- (1)頭髪の変形加工（パーマ・モヒカン・エクステ・ライン等）、脱色、染髪、整髪料（ワックス、ジェル）等は禁止する。
- (2)目にかからないように整髪する。教科によって髪を束ねないことで、安全に支障がある場合は黒、紺、茶色のヘアゴムでくる。その際、教科担当者から指示があるので、しっかり聞くこと。また、黒、紺、茶色のヘアピンでとめてもよいが、体育の授業時や部活動（運動系）の活動時は、危険防止のためにはずす。

4.その他

- ・カバンは学校指定の物を使用すること。（大住バッグまたは大住リュック）
- ・学習に関係のない不要物や高価な物は持って来ないこと（特に携帯電話・スマートフォン、遊具類、電子辞書、マンガ、雑誌、お菓子類など）。不要物所持を見つけた場合は、学校で預かります。
- ・お茶やスポーツドリンクは水筒やペットボトルに入れ、年間を通して持ってきてもよい。
- ・自動販売機の利用に必要な分だけのお金を持ってきてもよい。ただし、自分で管理すること。お金の貸し借りは行わない。
- ・タブレット端末は、学習以外の目的に使用しない。
- ・化粧については禁止とする。（色付きのリップクリームやカラーコンタクト、アイプチ等二重加工、ピアスも含む）
- ・詳細については「学校生活のルールとマナー」等で確認する。